

令和6年版「小学書写」は、 表紙キャラクターが動きます!!

水書学習が始まる1年生と、毛筆学習が始まる3年生には、
表紙のキャラクターたちが新しい用具での学びへといざなう

コマ撮りアニメーションがあります。

新学期の導入に最適な動画です。



こちらもチェック 令和6年度版 小学校教科書のご紹介「小学 書写」
<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/r6shou/shosha/index.html>

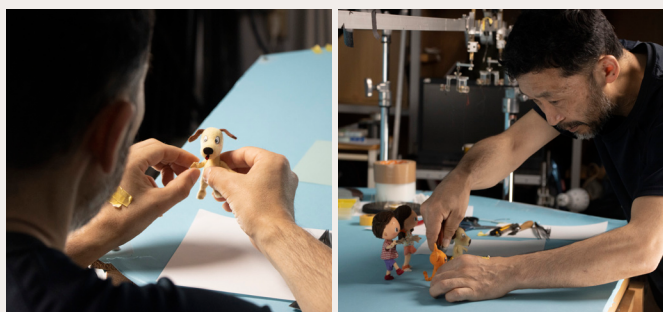


アニメ撮影スタジオにおじゃましました！

西新宿駅から少し歩いてスタジオのある路地に入ると、昔ながらの東京の静かな住宅が並んでいました。地図を確認しながら町工場のような建物の引き戸をおそるおそる開けると、そこは暗幕が張られ資材が並べられた広い空間。中央にはスポットライトに照らされた作業台があります。

「江本さん、いま隣のビルで打合せ中で……。」作業の手を止め、ややはにかみながら案内してくれたのはアニメーターの野中さん。作業の邪魔にならないように、後方の椅子でしばらく見学させてもらうことにしました。

作業台の上には、表紙でおなじみのキャラクターたちがポーズを作っています。野中さんは私たちに背を向ける格好で黙々と、人形の手、足、顔の角度、持ち物の位置などを繊細に微調整して、テープやつり糸、ピンなどで慎重に台に固定していきます。



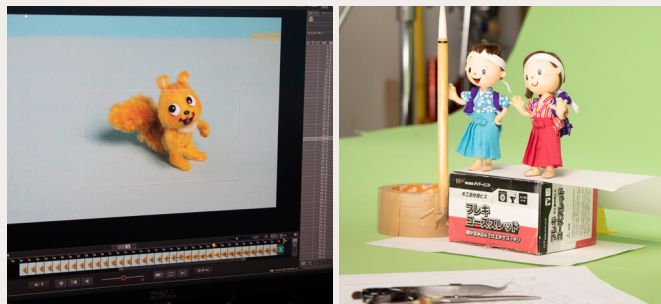
左：性格を想像しながら動きを決めていく
右：キャラクターを慎重に固定する

やがて引き戸が開いて江本さんがスタジオに現れました。「あぁすみません、予定が変更になっちゃって。」明るい挨拶に救われた気持ちでお話をうかがいます。

造形作家のわたなべちよみ先生と江本さんの付き合いはもう20年以上になるといいます。「ちよみさんの人形は骨格がきちんとしてるのでポーズが作りやすいんですね。」親しい呼び名に長年の信頼関係がうかがえます。

しばらくすると「はい、じゃあ」と野中さんが立ち上がりました。江本さんは軽く返事をしてコンピューターのモニターの前に座り、キーボードを操作します。コンピューターには太いケーブルで一眼レフのカメラが接続しており、キーボードのキーをひとつ押すだけでシャッターが切れるようになっています。撮影された写真は即座にモニターに映し出されます。書写の人気者、コアラの赤ちゃんのかわいらしいショットがモニターに映ると、編集部から「わぁ！」と歓声があがりました。

江本さんと野中さんもモニターを確認します。1、2度手直しをして、もう本番撮影です。ベテランのお二人には、撮る前から映像が見えているかのようでした。野中さんが人形のポーズを作る、江本さんがシャッターを押す、阿吽の呼吸で淡々とカットが重ねられていきます。プロフェッショナルの仕事を私たちは息を殺して見守ります。「しょうがく しょしゃ ーねん」表紙用の28秒のアニメーションのために、約500カットが撮影されています。



上：映像を確認する江本さんと野中さん

左下：画面の下部に並ぶカットを連続再生すると動画に
右下：フレーム調整には身近なものを工夫して使う

区切りのいいところで、江本さんがそれまでのカットをつなげて再生してくださいました。「歩いてるっ！」1秒にも満たないシーンでしたが、こうちゃんが自分の足で一步一步元気に歩く姿に、またも私たちは大感激。温かく、少し懐かしさも感じる、心をぎゅうっとつかまれるような愛らしさ。こうちゃんの生命が動き出した瞬間です。

野中さんは、ちよみ先生が関わった自主制作映画を観てこの仕事にあこがれ、アニメーターを始めました。ちよみ先生は数十年前、かわいい人形アニメーションとはおよそ遠いジャンルの刺激的な映画を制作されていたと聞いて、私たちもびっくり。それを観てあこがれる野中さんも……。お話をきけばきくほど魅力的なかがたです。

江本さんが代表を務める一水さんは、これまで数々の有名CM、映画やアニメ作品などを手がけてきました。「辛いなあいやだなあと思うことはないですか?」「いやになることは……ないですよ。」と穏やかに笑う野中さん。「でも、何度動かしてもかわいくなるとか、(動画を)再生するとよくないとか、うまくいかない時はちょっといやになります。」キャラクターが大勢いると、途中で誰かが倒れるなどのアクシデントが起きやすくなるそうです。それを根気強くなおし、全員をぴたっと決めるのは本当に集中力のいる作業です。

ポーズを作っている間、ステージ上の全員の動きを全部覚えていくわけではないけれど、その子を触るとどう動いていたかを思い出すのだそうです。人形の動かし方は経験、といいます。動物を動かす際は、とくに歩幅、動きの速さなども考えます。アニメーターは常に人形と対話をしながら、ひとコマひとコマに命を吹き込んでいるのだと感じました。



撮影の様子を見に訪れた
ちよみ先生と野中さん